

寒さが厳しかった今年の冬はとても長く感じられました。

3 月になっても日陰には雪が残っており、朝晩はまだ氷点下の日々が続いています。しかし、最近私が挨拶によく使っているフレーズですが「止まない雨はない、終わらない冬はない」の言葉通りやがて菜の花が咲き、桜が咲き春爛漫の季節が巡ってきます。艱難辛苦(かんなんしんく)を耐えぬいてこそ大きな喜びが得られる事を信じて春を待つ日々が続きます。

旅立ちの季節を迎えました。

村内では小学校で 13 名、中学校で 24 名の児童生徒が卒業式を迎えます。新しい環境への不安もあるかとは思いますが、新たな門出に「頑張れー」とエールを送りたいと思います。

先日、小学校の「かがやき学習発表会」と中学校の「ふるさと学習発表会」に参加して参りました。

小学校では各学年が、それぞれの学年らしさを元気一杯に寸劇や合唱、合奏で発表してくれました。どの学年も発表に向けてしっかりとした取り組みが感じられ、小学校の合言葉「自分の力を出し切る」が見事に成果としてみる事ができた素晴らしい発表会でした。

一方、中学校は 1 年生が緑化少年団として山と川のつながりについて学んだ事を、2 年生は職場体験で学んだ事を、3 年生は 3 年間のふるさと学習の集大成を、どの学年も発表方法に工夫をこらし、素晴らしい発表でした。

小学校も中学校も全体を通して感じる事ができたのは、みんなこの「東白川村」が大好きだということです。中学生からはふるさと「東白川村」のために何ができるかを考えたいという熱い思いを受け取ることができ、本当に嬉しく心温まる時を過ごすことができました。

実は何の打ち合わせもしていませんでしたが、私が来賓挨拶の中で今年の成人式に贈った言葉を用いて「何処にいてもどんな職業についてもふるさとを忘れずに、ふるさとのために何ができるかを考えておいて欲しい」という話をしたのですが、まさに満額回答を得た瞬間でした。

2018 年平昌(ピョンチャン)オリンピックが閉幕しました。

日本人選手団の大活躍に睡眠不足の日が続きました。オリンピックのメダルへの道には、どの選手も周到な計画と不断の努力があったことを改めて知ることになり、感動と勇気をもらった方も多いはずです。人間力の素晴らしさに、敬意と憧れを強く感じる事ができたオリンピックウィークでした。

2020 年の東京オリンピックとパラリンピックの選手村の施設に、東白川村の東濃ひのきを提供することになり、その準備が始まります。「木のむら」ならではの参加の方法ではないかと期待しているところです。使用した木材は終了後、村へ戻していただき記念になるものを作りたいと考えていますので、その時期になりましたらアイデアをお寄せ下さい。

3 月は締め括りの月です。

平成 29 年度も大過なく順調に村政が進捗できたのも村行政に対する皆様のご理解とご協力に感謝申し上げて新年度の準備を進めてまいります。

平成 30 年 3 月

東白川村長 今 井 俊 郎